

# 新世代のための月間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー  
高島 凱夫



RIでは、才能と熱意のある次世代を担う青少年や若者の育成を推奨し、毎年9月を「新世代のための月間」と定めています。当地区では、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLA、ニコニコキャンプなどがあり、地区委員会の皆様がアドバイスをしながら、提唱クラブあるいはホストクラブの皆様方が奉仕活動に携わっていらっしゃいます。皆様方の活動に感謝を申し上げます。

新世代奉仕がロータリーの第5の奉仕部門に入って、1年3ヶ月が経過しようとしています。近年の社会の変化・多様化のため、青少年を取り巻く状況も大きく変化しています。喫煙、飲酒、脱法薬物などの薬物依存、性感感染症・HIV/AIDSなどの低年齢化が大きな社会問題となっています。また「突然切れる」「学級崩壊」「ネット依存症」など心(精神)の病をもつ青少年が増加しています。平和な社会を築いていく青少年(未来の指導者)を育てていくことは、ロータリーの、そしてロータリー活動の大きな目的であることは皆様ご存じの通りです。しかし、めまぐるしく社会が変化し、多くの難問が青少年に襲いかかるとき、やはり“こころ”と“からだ”が健全な青少年の育成が肝要だと思います。

近年、青少年奉仕活動の中での青少年に対する肉体的、性的、精神的虐待が問題になっています。これは、

文化・習慣などの違いを充分把握することで防止できることが多いと思われませんが、今一度、ロータリアンとは?ロータリーの奉仕活動とは?とお考え戴くことが先決問題かとも考えます。

地区では、この様なこと以外にでも起こる各種トラブルを未然に防止するため、また不幸にも起こってしまったトラブルに対応するために、危機管理委員会があり、危機管理積立金があります。

危機管理積立金につきましては、今後国内外で起こる可能性がある様々なトラブルに対し地区として対応できる資金が必要と考えました。そこで今年度は、地区活動資金から増額し危機管理積立金に繰り入れることに致しました。今の時代を考えると、これが十分な規模かどうかは判りかねます。

昨年度に引き続き、今年度は米山奨学委員会も含めた青少年をお世話する委員会が一堂に会する会議を開催し、青少年に関する意識を一致させていくことを考えています。皆様方も、この月間に今一度、RIが提唱している「青少年と接する際の行動規範に関する声明」(後述)など「ロータリー章典2.110. 青少年の保護」をご確認戴きたいと思います。

## 青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するように努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。